

県有建築物のZEB化の推進

交通基盤部 建築管理局

県有建築物において、

『**新築時のZEB[※]化**』と

『**既存建築物改修時における省エネ化**』

を両輪として、

それぞれの**特性に合った対策**を進め、

温室効果ガス排出量の削減を図ります。



※ZEB (Net Zero Energy Buildingの略)

省エネルギー化と再生可能エネルギーの導入(創エネ)で、
建物で使うエネルギー消費量の収支をゼロにすることを目指した建築物

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

1

ZEB化設計指針の策定

【背景】

(H23)「ふじのくにエコロジー建築設計指針」を策定し省エネを推進
(R3.10) 地球温暖化対策計画の閣議決定 (2030年度削減目標: 46%)

【対応】

全国の都道府県に先駆け、令和3年度から全ての新築で
ZEB化 (エネルギー消費量削減: 50%以上) を目指した設計を開始

【課題】

ZEB達成に効果的で効率的な設計方法が不明確

有識者意見の反映

県有建築物を**効果的かつ効率的**にZEB化するため
ZEB化設計指針及びマニュアルを策定 (令和3~4年度)

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

2

静岡県でZEBを達成するポイント

地域特性を活かした省エネ



- ★静岡県の気候特性を活かした設計
- ★県有建築物の規模の特徴を考慮した設計

継続した省エネ運用



- ★適正な設備容量の設定
- ★運用時におけるエネルギー管理の実施

ライフサイクルコストの抑制



- ★ライフサイクルコストを考慮した省エネ手法の選定

原則ZEB Ready以上
(建築物のエネルギー消費量50%以上削減)

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部 3

2030年度の削減目標55%達成に向けて (静岡県庁温室効果ガス削減アクションプラン)

新築建築物の原則ZEB化を実行中

対象施設	省エネ化内容	時期
原則全ての 新築建築物	実施可能なもの全て (外壁・窓・設備機器等)	新築時に一括

■新築する県有建築物のZEB化状況

完成1件、工事中2件、設計済11件



ZEB Ready達成：茶業研究センター
(R4設計、R6工事完成予定)



ZEB Ready達成：清水西高校
(R4設計、R7工事完成予定)

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部 4

ZEB化による効果と普及

御前崎港管理事務所 (R3.2完成)



- ☑ エネルギー削減量 53% (BEI=0.47)
- ☑ CO2削減量 約8トン/年
- ☑ 電気料金 (R4単価での比較) ▲約50万円/年

■ ZEBの普及
指針を活用した講習会等の実施により、市町や民間のZEB化の取組の促進及び支援を行っている。



講習会の様子

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

5

2030年度の削減目標55%達成に向けて (静岡県庁温室効果ガス削減アクションプラン)

今後は、既存建築物のZEB化も推進

対象施設	省エネ化内容	時期
規模等により対象選定	省エネ効果の高いものを優先 (窓・設備機器等)	対象部位ごと段階的に

■ 目標

2030年度までに、既存県有建築物のCO2排出量を約5,500 t 削減

■ 省エネ改修可能性調査の実施

保有延べ面積約250万㎡の既存建築物のうち、エネルギー消費の大きい施設の現況調査、改修シミュレーション、計画策定を実施
(21施設程度をR5~7で実施予定)



R5 省エネ可能性調査予定
グランシップ

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

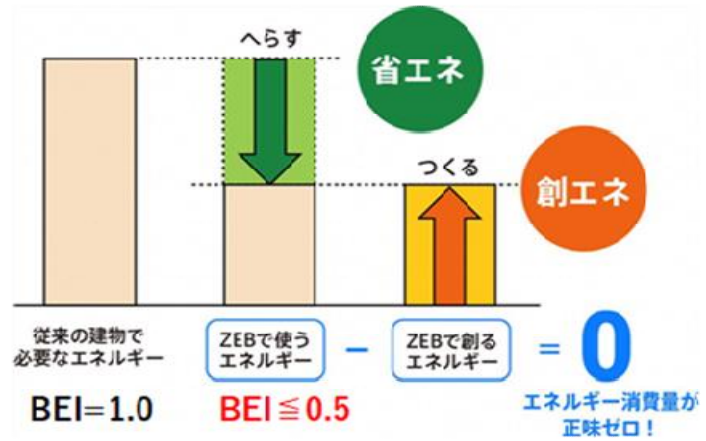
6

2050年度の脱炭素社会の実現に向けて

県有(新築・既存)建築物のZEB化により、
温室効果ガス排出量の削減に着実に寄与し続け
脱炭素社会実現のための強固な土台を築く。

室内環境
の
質は維持

+



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

7